

17年度評価項目案(婦人保護施設版)

	評価項目	社・援項目	標準項目	標準項目確認のポイント
4 サー ビス の 実 施	(1)性的自立への支援について、一人の女性として生と性の自己決定が行なえるよう、様々な取り組みを行なっている		<p>利用者が性についての理解を深めるために、女性及び男性の身体のしくみや生理について学習する機会や情報を得る機会を設定している</p> <p>嫌な体験について安心して感情を吐露できる場を確保している</p> <p>利用者の自己決定を促すために具体的な取り組みをしている</p>	<p>評価項目のねらい:この項目では、利用者にひとりの女性として、「生」や「性」についての適切な理解と自己決定を促すような支援がされているか、またどのような取り組みが行われているかを評価します</p> <p>構成要素:性に関する学習の取り組み、安心して過去の体験等を語れるしくみ、自己決定・自己肯定促進への取り組み、またそれらが継続的に支援されているか</p>
	(2)個別支援計画をいかしながら、自立へ向けた就労支援や生活支援の様々な取り組みを行なっている		<p>安定した就労のために、必要に応じて相談に応じたり雇用先との関係調整を行ったりしている</p> <p>就労困難な利用者への自立支援に向けた寮内作業を用意し、個々の状況に合わせた支援を行っている</p> <p>地域で自立した生活を行うためのプログラム(例えば料理実習、買い物、各種行政手続等)を用意するなど、個別に具体的な支援を行っている</p> <p>金銭の自己管理が難しい利用者へは、こづかい帳を利用するなどして計画的な使い方や金銭感覚が身につくよう具体的な方法で自己管理支援を行っている</p> <p>服装や化粧・髪型は利用者の好みを尊重しながら、時と場合にあったものとなるようアドバイスしている</p> <p>退所後の支援に関しても必要に応じて関係機関と連携するなど、個別の事情に応じた支援を行っている</p>	<p>評価項目のねらい:この項目では、立案された個別支援計画に盛り込まれた内容に基づき、地域での自立した生活に向けて、日々の生活の中で利用者が習得できるような支援がなされているのかを評価します</p> <p>構成要素:就労に向けての取り組み、金銭の管理方法や感覚の習得、基本的な生活習慣を身につける機会、社会生活を営むうえでの基本的な支援などのしくみを整えているか(継続的な支援、退所後の支援など)</p>
	(3)栄養のバランスを考慮した上でおいしい食事を出している		<p>食事時間は利用者の希望に応じて、一定の時間内で延長やずらすことができる</p> <p>献立の内容は季節感を取り入れ、変化に富んでいる</p> <p>カフェテリア方式、複式献立、外食等利用者が食事を選択できるようにしている</p> <p>利用者の好みに応じて、苦手な食べ物を変更することができる</p> <p>食器や食堂の環境整備により、食事を楽しむ工夫をしている</p>	<p>評価項目のねらい:この項目では、栄養面や衛生面での配慮を含め、施設で提供する食事(嗜好品を含む)に関する取り組み内容を評価します</p> <p>構成要素:バラエティーに富んだ献立、食事選択への取り組み、個々の状況・嗜好に配慮した食事提供のしくみを整えているか</p>
	(4)入浴に関しては、利用者の状況や希望を反映した支援を行っている		<p>浴室や脱衣室は清潔で、快適な状態にしている</p> <p>浴室が一度に混み合わず、スムーズに入浴ができるよう配慮をしている</p> <p>入浴する時間や回数等は、利用者の個別状況や希望に応えられるよう工夫をしている</p> <p>入浴が快適なものとなるよう音楽や装飾など演出の工夫をしている</p>	<p>評価項目のねらい:この項目では、利用者の状態や希望に応じた入浴の支援が行われているかどうかを評価します。</p> <p>構成要素:個別の状況に配慮した利用、希望に応じた入浴時間の設定などに関するしくみを整えているか</p>
	(5)利用者の心身の健康を維持するための取り組みを行なっている		<p>健康診断の結果について、積極的に知らせる等、利用者の健康状態への意識を高める工夫をしている</p> <p>心身の健康に関する利用者からの相談に応じる体制を整えている</p> <p>服薬管理は誤りがないようチェック体制がある</p> <p>服薬に関しては自己管理への取り組みを積極的に行う等、利用者個人に応じた支援を行っている</p> <p>日頃から医療機関と連携を図り、必要時には措置を講じている</p> <p>精神的ケアが必要な利用者に対する援助の基本的な考え方を、職員全体に周知徹底している</p> <p>心身の健康を維持するため、必要に応じ専門家が対応している</p>	<p>評価項目のねらい:この項目では、利用者の体調変化を含めた、個別状況に応じた心身の健康維持のための支援を行っているかどうかを評価します。</p> <p>構成要素:健康状態の説明、自己服薬の支援、服薬管理チェック体制、精神的ケア、体調変化に即応できる体制整備など健康維持・増進のしくみを整えているか</p>

17年度評価項目案(婦人保護施設版)

	評価項目	社・援項目	標準項目	標準項目確認のポイント
4 サ ー ビ ス の 実 施	(6)施設の生活は、楽しく快適である		<p>環境整備により利用者がやすらげる雰囲気づくりをしている</p> <p>施設での生活は、他人への迷惑や健康面に影響を及ぼさない範囲で、原則として自由である</p> <p>利用者それぞれに応じた日常生活の時間を過ごせるよう環境を整えている</p> <p>余暇活動のプログラムは利用者の特性や嗜好を考慮し、作成している</p> <p>事業所外での活動には、原則として自由に参加することができるようにしている</p> <p>施設の生活ルールは利用者・家族などの意見を参考にするなど随時見直しを行っている</p>	<p>評価項目のねらい:この項目では、利用者の主体性を尊重しながら、日常生活を楽しく快適なものにするための取り組みを評価します。</p> <p>構成要素:多様な体験の確保、居心地のよい環境整備、施設運営への参加の機会の確保など利用者の快適性を確保するしくみを整えているか</p>
	(7)本人の安全を最優先としながら、母子・家族関係の維持・再構築のための支援を行なっている		<p>利用者の意思を尊重し、個別の状況に配慮した家族等への情報提供を行っている</p> <p>法的な手続きが必要な利用者について対応を行っている</p> <p>【同伴乳児対象の事業所に限る】同伴乳児が安心・安定して生活できるよう支援している</p>	<p>評価項目のねらい:この項目では、利用者を取りまく様々な人間関係を安定したものにしていくために、利用者本人の立場に立った支援をしているのかについて評価します。</p> <p>構成要素:利用者の利益を最優先とし、本人の意思を尊重した家族関係の再構築、法的な手続きや利用者の安全に配慮した支援など、状況を的確に判断した支援を行っているか</p>
	(8)地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている	4(1) 利用者と地域とのかかわりを大切にしている	<p>地域との関わりについての基本的な考え方を明文化している</p> <p>地域の情報を収集し、利用者の状況に応じて提供している</p>	<p>評価項目のねらい:この項目では、利用者が地域社会の一員として生活する機会を創りだすとともに、利用者の利益を考慮したうえで支援方針に基づいて支援がされているかを評価します。</p> <p>構成要素:地域移行への支援、地域情報の収集・提供、利用者が地域資源を利用する支援などのしくみを整えているか</p>